



社協だより

2018

No 85

平成30年7月15日

(発行所) 奈井江町社会福祉協議会 (電話65-6066番 FAX65-6067番)



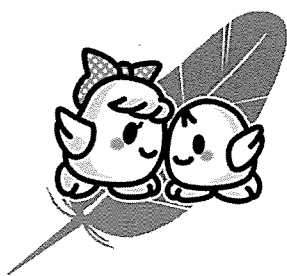
去る3月27日社協評議員会が開催され、平成30年度の事業計画・予算等が可決されました。

また、この日は社会福祉事業の高揚に寄与された方に対し、二口敏次郎会長より感謝状が贈呈されました。

さらに、5月10日の評議員会では、平成29年度の事業報告・決算報告について承認されました。



平成29年度社会福祉協議会顕彰規程に基づく、感謝状・表彰状の受賞者のみなさまです。



※“社協だより”は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行します。

☆感謝状受賞者

北町1区	山下 安造 様
本町7区	深田 全男 様
本町9区	依田 糸子 様
南町1区	塩田 邦恵 様
瑞穂1区	東藤 恵子 様
大和1区	杉森 慶子 様
高島1区	稲垣 照義 様

☆表彰状受賞者

北町3区	永井 啓布 様
北町5区	加藤波留美 様
本町9区	上嶋 幸子 様
東町6区	笹木利津子 様
大和4区	堀 忠史 様

**受賞おめでとう
ございます。**

◆平成30年度 奈井江町社会福祉協議会の理事、監事、評議員の方々です◆

役 員 理 事					
団 体 名	役 職	氏 名	団 体 名	役 職	氏 名
本 町 連 合 区	会 長	二 口 敏 次 郎	白 山 連 合 区	理 事	林 博 六
民生児童委員協議会	副 会 長	大 櫛 哲 行	厳 島・宮 村 連 合 区	〃	松 田 幸 司
女 性 団 体	副 会 長	橋 本 ミ エ	茶 志 内 連 合 区	〃	鈴 木 勉
役場おもいやり課	常務理事	石 塚 俊 也	高 島 連 合 区	〃	仲 丸 茂 廣
町 議 会	理 事	森 山 務	向ヶ丘連合区	〃	石 川 紀 子
北 町 連 合 区	〃	西 田 哲 示	福 祉 施 設	〃	川 端 精 朔
南 町 連 合 区	〃	南 修	女 性 団 体	〃	梅 本 てる子
東 町 連 合 区	〃	清 水 英 一	ボランティア活動連絡協議会	〃	小 谷 博 之
瑞 穂 連 合 区	〃	萬 三 郎		監 事	堀 則 文
大 和 連 合 区	〃	桑 島 雅 憲		〃	中 野 忠 雄
評 議 員					
団 体 名	氏 名	団 体 名	氏 名		
北 町 連 合 区	北 田 武 良	奈 井 江 町 老 人 ク ラ ブ 連 合 会	辻 脇 貴 雄		
	渡 邊 忠 行	奈 井 江 町 身 障 福 祉 協 会	長 屋 高 史		
	佐 藤 順 治	奈 井 江 遺 族 親 交 会	小 島 昭 則		
本 町 連 合 区	井 戸 博 勝	奈 井 江 母 子 会	本 山 淑 子		
	矢 野 佳 子	民 生 児 童 委 員 協 議 会	小 林 広 幸		
	上 嶋 幸 子	奈 井 江 町 赤 十 字 奉 仕 団	大 道 京 子		
南 町 連 合 区	高 橋 健 三	奈 井 江 町 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ	山 村 祐 一		
	松 本 成 生	保 護 司 会 奈 井 江 分 会	北 山 武 史		
	川 端 政 行	商 工 会 青 年 部	石 川 正 平		
東 町 連 合 区	南 部 勇 三	奈 井 江 地 区 連 合	京 納 圭 史		
	嶋 守 強	農 民 協 議 会	笹 木 謙 一 郎		
	鹿 野 時 雄	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 連 絡 協 議 会	澤 田 千 恵 子		
瑞 穂 連 合 区	鈴 木 義 三	奈 井 江 町 交 通 安 全 協 会	尾 崎 明		
高 島 連 合 区	渡 部 広 幸	奈 井 江 町 衛 生 協 力 会	笹 木 正 男		
白 山 連 合 区	北 準 一	奈 井 江 町 商 工 会	永 井 啓 布		
向ヶ丘連合区	渡 辺 俊 彦	町 女 性 団 体 連 絡 協 議 会	加 藤 波 留 美		
宮 村 連 合 区	鈴 木 良 子	社 会 教 育 委 員 会	田 澤 康 史		
厳 島 連 合 区	横 井 清 光	子 供 会 育 成 連 絡 協 議 会	久 保 田 政 夫		
茶 志 内 連 合 区	中 易 昭 一	社 会 福 祉 施 設	須 崎 正 寿		
大 和 連 合 区	堀 忠 史	更 生 保 護 女 性 会	笹 木 利 津 子		

平成30年度奈井江町社会福祉協議会事業計画

基本方針

急速な高齢社会の進展、家族構成や経済状況の変化に伴い、それまであった人や物、情報の流れ、生活様式も大きく変わり、家族を単位とする考え方から、それぞれの個別性を重視する考え方へと、その変化を続けています。

これらのことから、自分らしく生きるための選択ができる環境整備や、持続性のある包括的な仕組みづくりが求められています。

このため、多様性を認め合い、自分らしくいられる地域社会の実現を目指して、地域を構成する人や社会資源がつながり、互いに支え合うまちづくり、居場所づくりが必要となっています。

こうした中で、「住み慣れた地域で、自分らしさを失わず、誰もが安心して暮らし続けることが出来るまちづくり」を目指すにあたり、社会福祉協議会はそれらを実現するための推進役として、大きく期待されています。

奈井江町社会福祉協議会では、北海道社会福祉協議会との「災害救援活動の支援に関する協定」を結びとともに、地域福祉、在宅福祉を中心に、高齢者、障害者等をはじめとした町民の福祉向上や、これらに関する事業を推進します。そのために町と連携を密にし、行政区や民生委員、ボランティア団体等の協力の下、地域の「ふれあい」と「互助」を大切にした住民参加による福祉活動の充実を図ります。これらの活動を通し「心が通い合い、安心して生活出来る健康と福祉のまちづくり」を目指し、各種事業を展開します。

また、祭壇の貸出事業については、葬儀費用の軽減と地元で葬祭を執り行うことのできる有利性や利便性等を、町民の皆さんに更に広くご理解頂きながら、その推進を図ります。

重点目標**○地域の互助を高める小地域ネットワーク活動等の推進**

奈井江町支え愛条例による独居老人等に関する情報共有のもと、日頃からの地域での支え合い活動（声かけ等の見守り・交流・奉仕等）や、災害時には支援活動を行う等、住民同士の絆や繋がりを更に深めて行くことが大切です。そのために、生活支援コーディネーターの機能を活かし、各区長、民生委員、福祉推進委員等の協力の下、これらの組織を中心とした地域住民による「たすけあいチーム」の活動（小地域ネットワーク活動）を更に支援します。

関連し、昨年度、町包括支援センターと共催した「介護予防サポーター養成講座」修了者による、地域の「互助」を高める活動を支援します。

また、町から委託を受けています「救急医療情報キット」の普及を、関係機関と協力しながら継続します。

**○在宅老人給食サービス事業の充実**

高齢者の健康維持と安否の確認のため、栄養士による健康増進に配慮した献立により、利用者の要望を取り入れながら、週2回の配食サービスを実施し、事業の一層の充実を図ります。

○高齢者等の生きがい対策の推進

高齢者自らが積極的に社会参加し、生き生きとして暮らせる環境づくりや就労機会の確保のため、シルバーセンターの会員募集や活動PRの充実を図り、軽作業や家事援助などを通じて、高齢者の生きがい対策としての事業を推進します。

**～計画の主な内容～****1. 地域福祉活動の推進**

- (1) 地域の「互助」を高める活動の推進
- (2) 産業まつり協賛によるふれあい広場の開催
- (3) 共同募金運動、日赤社員募集の推進
- (4) 在宅老人給食サービス事業の推進
- (5) 在宅福祉サービスの研究及び事業の推進
- (6) 役員及び職員の各種研修会等への積極的な参加
- (7) 地域福祉権利擁護事業への協力
- (8) 救急医療情報キットの普及活動
- (9) 生活支援体制整備事業（町委託事業）の取り組み

3. しあわせを高める運動の推進

- (1) 生活福祉資金貸付償還事業の推進
- (2) 低所得世帯などへの援助
- (3) 歳末助け合い運動の推進
- (4) 社会を明るくする運動の推進
- (5) 心配ごと相談活動の推進
（毎月第1・3水曜日、無料弁護士相談～年2回）

2. ボランティア活動の推進

- (1) ボランティアスクール及び研修会の開催
- (2) 学童ボランティア活動の協力援助
- (3) ボランティア活動の育成及び協力
- (4) ボランティア事業の普及・啓発
- (5) ボランティアセンター機能の充実・強化
- (6) シルバーセンター事業の推進

4. 葬祭壇貸出事業の推進

- (1) 葬祭の町内開催運動の推進
- (2) 生活改善推進運動の実践活動



平成30年度社会福祉協議会予算書

1. 法人運営事業

(収入の部)

(単位:千円)

科 目	金 額	説 明
社会福祉協議会事業収入	17,060	
在宅老人給食サービス事業収入	624	在宅給食サービス個人負担金
補助金事業収入	8,254	町補助金
受託事業収入	8,085	町受託金
その他の事業収入	97	道社協助成金
会費収入	1,296	特別・賛助(一般・団体)
経常経費寄付金収入	1,620	一般福祉活動寄附金
受取利息配当金収入	25	預金利息
その他の収入	3,474	
共同募金配分金収入	1,471	一般募金配分金、歳末たすけあい配分金
雑収入	2,003	社会保険個人負担金 他
事業区分間長期貸付金回収収入	232	公益事業貸付金償還金
サービス区分間繰入金収入	1,063	サービス区分間繰入金
前期末支払資金残高	3,335	前年度繰越額
計	28,105	

(支出の部)

(単位:千円)

科 目	金 額	説 明
人件費支出	15,653	職員給与、社会保険料
事業費支出	5,913	小地域ネットワーク事業他 各種事業費
事務費支出	1,947	事務費、費用弁償・出張旅費 他
その他の支出	1,471	
共同募金配分金支出	1,471	一般募金、歳末たすけあい配分金事業費
サービス区分間繰入金支出	1,063	サービス区分間繰出金
予備費	209	予備費
計	26,256	

2. 公益事業

(収入の部)

(単位:千円)

科 目	金 額	説 明
社会福祉協議会事業収入	263	葬祭壇貸出料
受取利息配当金収入	1	預金利息
前期末支払資金残高	1	前年度繰越額
計	265	

(支出の部)

(単位:千円)

科 目	金 額	説 明
事業費支出	30	事業費
事務費支出	1	手数料
事業区分間長期借入金返済支出	232	法人運営事業会計償還金
予備費	1	予備費
計	264	

平成29年度社会福祉協議会決算報告書

1. 法人運営事業

(収入の部)

(単位:千円)

科 目	金 額	説 明
社会福祉協議会事業収入	9,917	
在宅老人給食サービス事業収入	507	在宅給食サービス個人負担金
補助金事業収入	6,193	町補助金
受託事業収入	3,120	町受託金
その他の事業収入	97	道社協助成金
会費収入	1,267	特別・賛助(一般・団体)
経常経費寄付金収入	1,703	一般福祉活動寄附金
受取利息配当金収入	2	預金利息
貸付事業収入	380	生活資金貸付償還金
その他の収入	2,487	
共同募金配分金収入	1,480	一般募金配分金、歳末たすけあい配分金
雑収入	1,007	社会保険個人負担金 他
事業区分間長期貸付金回収収入	269	公益事業貸付金償還金
サービス区分間繰入金収入	685	経理間繰入金
前期末支払資金残高	4,896	前年度繰越額
計	21,606	

(支出の部)

(単位:千円)

科 目	金 額	説 明
人件費支出	8,230	職員給与、社会保険料
事業費支出	4,451	小地域ネットワーク事業他 各種事業費
事務費支出	1,563	事務費、費用弁償・出張旅費 他
貸付事業支出	390	生活資金貸付金
その他の支出	1,480	
共同募金配分金支出	1,480	一般募金、歳末たすけあい配分金事業費
サービス区分間繰入金支出	685	経理間繰出金
予備費	0	予備費
計	16,799	

当 期 末 収 支 差 額

4,807

2. 公益事業

(収入の部)

(単位:千円)

科 目	金 額	説 明
社会福祉協議会事業収入	275	葬祭壇貸出料
受取利息配当金収入	0	預金利息
前期末支払資金残高	1	前年度繰越額
計	276	

(支出の部)

(単位:千円)

科 目	金 額	説 明
事業費支出	5	事業費
事務費支出	1	事務費
事業区分間長期借入金返済支出	269	法人運営事業会計償還金
予備費	0	予備費
計	275	

当 期 末 収 支 差 額

1

平成29年度奈井江町社会福祉協議会 事業報告・収支決算報告について

事業方針に基づき実施した主な事業の概要

1. 地域福祉活動の推進

◆ 小地域ネットワーク活動の推進

各地区たすけあいチームによる独居老人等の生活弱者の援護を目的とした定期的な訪問・声かけ・レクリエーション・交流会等の活動の実施

研修会の開催(11/17)・・・事業に係る学習、各チーム間の情報交換等の実施

◆ ふれあい広場開催

ないえ福祉会、拓明興社、身障福祉協会、更生保護女性会、赤十字奉仕団等の協力による出店、体験コーナーを実施

◆ 在宅老人給食サービス事業の実施

週2回(火・金)の昼食の配食サービスの実施

◆ 共同募金運動・日赤社員増強運動の実施

共同募金～実績額 1,079,831円

日赤社資～実績額 719,150円

◆ 地域福祉権利擁護事業の推進(道社協事業)

生活支援員の協力のもと意思決定能力の不十分な方に対し、福祉サービスの利用援助・金銭管理の援助等により自立生活を支援



(小地域ネットワーク事業研修会)



(ふれあい広場)

2. ボランティア活動の推進

◆ 赤十字安全法講習会開催(9/28)

旭川赤十字病院健康生活支援講習指導員の勝浦明恵氏と橘 尚子氏を講師に招き、講習会では、災害時に「高齢者に及ぼす影響」や「接する時の心づかい」などについて学び、また、知って役立つ技術として「毛布を使った保温方法」や「癒しのハンドケア」について学びました。(20名参加)

◆ ボランティアスクール開催(2/15)

北海道総合福祉研究センターの池田ひろみ事務局長を講師に招き、「地域における支え合い」をテーマに『ひとり暮らしと孤立の違い』や『孤立しない・させないために大切なこと』など、小地域ネットワーク、各ボランティア団体が参加され学びました。(合計30名参加)

◆ ボランティア事業の普及・啓発等

ボランティアニュース発行(年2回)

学童ボランティア活動等への育成および協力援助(補助金助成)

◆ シルバーセンター事業について

会員数の強化、家事援助サービスや草刈除草、除排雪業務等の作業を実施(受注件数2,412件)



(赤十字安全法講習会)



(ボランティアスクール)

3. しあわせを高める運動の推進

◆ 心配ごと相談

民生委員による相談会(毎月第1水曜日)

弁護士相談会の実施(中空知法律センター:毎月第3水曜日)

“(7月27日、11月29日)

◆ 低所得者世帯等への援助

◆ 生活福祉資金貸付償還事業の推進

◆ 社会を明るくする運動

保護司会、各関係団体協力による街頭啓発・車両パレードの実施

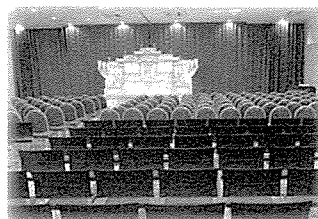
◆ 歳末たすけあい運動

歳末たすけあい募金～実績額 739,011円

歳末チャリティバザー・演芸大会



(歳末チャリティバザー)



(葬祭壇貸出事業)

4. 葬祭壇貸出事業の推進

交流プラザみなクルにおいて、生活改善推進運動の一つとして葬祭壇の貸出事業を実施し、52件の利用がありました。

～ 社会福祉協議会の財務等に関する情報 ～

貸借対照表

1. 法人運営事業

(単位:千円)

資産の部				負債・純資産の部			
科 目	H29年3月末 金 額	H30年3月末 金 額	増 減	科 目	H29年3月末 金 額	H30年3月末 金 額	増 減
I. 流動資産	6,446	6,337	▲ 109	I. 流動負債	10	250	240
1. 現金	10	10	0	1. 預り金	10	10	0
2. 預貯金	2,997	2,007	▲ 990	2. 未払費用		240	240
3. 短期貸付金	448	458	10	II. 固定負債	500	500	0
4. 未収金	1,900	3,040	1,140	1. 長期運営資金借入金	500	500	0
5. 会計単位外貸付金	1,091	822	▲ 269				
II. 固定資産	20,290	20,290	0	負債の部合計	510	750	240
1. 基本財産	1,000	1,000	0	1. 基本金	1,000	1,000	0
①基本財産特定預金	1,000	1,000	0	2. その他の積立金	19,290	19,290	0
2. その他の固定資産	19,290	19,290	0	①その他の積立預金	19,290	19,290	0
①車両運搬具	0	0	0	3. 次期繰越活動収支差額	5,936	5,587	▲ 349
②その他の積立預金	19,290	19,290	0	純資産の部合計	26,226	25,877	▲ 349
資産の部合計	26,736	26,627	▲ 109	負債・純資産合計	26,736	26,627	▲ 109

2. 公益事業

(単位:千円)

資産の部				負債・純資産の部			
科 目	H29年3月末 金 額	H30年3月末 金 額	増 減	科 目	H29年3月末 金 額	H30年3月末 金 額	増 減
I. 流動資産	1	1	0	I. 流動負債	0	0	0
1. 預貯金	1	1	0	II. 固定負債	1,091	822	▲ 269
II. 固定資産	1,091	822	▲ 269	1. 長期運営資金借入金	1,091	822	▲ 269
1. その他の固定資産	1,091	822	▲ 269	負債の部合計	1,091	822	▲ 269
①器具及び備品	1,091	822	▲ 269	1. 次期繰越活動収支差額	1	1	0
資産の部合計	1,092	823	▲ 269	純資産の部合計	1	1	0
				負債・純資産合計	1,092	823	▲ 269

〔法人合算〕

財産目録

(単位:円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	10,000		
預貯金	2,008,867		
未収金	3,040,000		
短期貸付金	458,000		
事業区分貸付金	822,000		
流動資産合計		6,338,867	
2. 固定資産			
(1) 基本財産	1,000,000		
基本財産合計		1,000,000	
(2) その他の固定資産			
その他の固定資産	19,290,000		
その他の固定資産合計		19,290,000	
固定資産合計			20,290,000
資産合計			26,628,867
II. 負債の部			
1. 流動負債	249,768		
流動負債合計		249,768	
2. 固定負債			
長期運営資金借入金	500,000		
固定負債合計		500,000	
負債合計			749,768
差引純資産			25,879,099

平成29年度会計監査報告

平成29年度奈井江町社会福祉協議会の各会計について、奈井江町社会福祉協議会定款第38条の規定により四半期監査、決算監査が行われ、平成30年5月10日評議員会で承認されました。

1. 実施日

- ①平成29年7月28日(四半期監査)
- ②平成29年10月27日(四半期監査)
- ③平成30年1月26日(四半期監査)
- ④平成30年4月17日(四半期監査、決算監査)

2. 監査内容

- ①予算執行の適否状況
- ②補助金、助成金その他の決算状況
- ③現金出納簿、預金残額の確認
- ④財産目録、貸借対照表、収支計算書、その他関係書類

3. 監査結果(監査意見等)

諸帳簿、預貯金通帳、その他証拠書類を監査した結果、適正に処理されており、相違ないことを認める。

「たすけあいチーム」活動中

～小地域ネットワーク事業～

独居高齢者や身体障害者等、生活弱者を地域住民で支えあい、ひとりの不幸も見逃さない明るい社会をつくるため、社協では平成11年度より小地域ネットワーク事業の一環としてたすけあいチームの設立を推進し、また活動費については町と社協から補助をして実施しております。

各地区の「たすけあいチーム」が地域での見守り・安否確認等の訪問事業、会食会やレクリエーション等の交流事業、草刈、除雪奉仕等の活動を行っております。

この活動は、地域福祉の大きな要となり、今後一層の活発化が期待されています。町民の皆様のご理解をいただきながら、全町でチーム結成をめざしてまいりますので、この事業の推進にご協力くださいますようお願いいたします。

平成30年度 小地域ネットワーク推進事業「たすけあいチーム」登録名簿

平成30年6月30日現在

番 号	地 区	代 表 者	たすけあいチームの名称	地 区 戸 数
1	北 町 1 区	藤 江 正 司	北町1区ふれあい会	45戸
2	北 町 2 区	川 口 進	北町2区たすけあいネットワーク	62戸
3	北 町 3 区	稲 垣 義 則	北町3区たすけあいネットワーク	75戸
4	北 町 4 区	小 山 敏 雄	北町4区たすけあいチーム	134戸
5	北 町 5 区	小 野 昇	北町5区ふれあいチーム	121戸
6	本 町 2 区	市 村 洋 勝	安(心)安(全)の会	19戸
7	本 町 4 区	小 澤 克 則	本町4区ふれあい会	56戸
8	本 町 5 区	小 林 仁	本町5区ふれあい会	73戸
9	本 町 6 区	岡 本 行 正	本町6区たすけあいチーム	53戸
10	本 町 7 区	松 本 良 正	本町7区ふれあい会	18戸
11	東 町 1 区	眞 田 和 彌	スズランふれあいの会	41戸
12	東 町 2 区	山 田 新 宣	東町2区ふれあいチーム	21戸
13	東 町 3 区	工 藤 政 勝	助合い、ふれあいの会	6戸
14	東 町 4 区	船 橋 利 幸	東町4区“ふれあい運動”	50戸
15	東 町 5 区	横 山 誠	東町5区たすけあいチーム	44戸
16	東 町 6 区	久保田 政 夫	寿おもしろやりチーム	125戸
17	東 町 7 区	岡 田 頼 子	東町7区たすけあいチーム	108戸
18	南 町 1 区	沖 野 順 一	南町1区たすけあいチーム	60戸
19	南 町 2 区 甲	北 清 亮 二	南町2区甲おもしろやりチーム	25戸
20	南 町 3 区	鈴 木 孝 恵	3区ふれあいネット	60戸
21	南 町 4 区	湯 谷 真 介	南町4区「となり組」	43戸
22	南 町 6 区	丸 山 勝 孝	南町6区たすけあいチーム	90戸
23	瑞 穂 連 合 区	小 林 昌 史	瑞穂ふれあいチーム	44戸
24	大 和 連 合 区	堀 勤	大和ふれあい会	67戸
25	白 山 連 合 区	笹 木 正 男	白山ふれあいチーム	26戸
26	巖 島 連 合 区	千 徳 信 行	いつくしまふれあいネット	21戸
27	茶 志 内 1・2・2甲・2乙	中 易 昭 一	茶志内第1助け合いチーム	29戸
28	茶 志 内 3・4・6 区	栗 山 裕 輝	茶志内第2たすけあいチーム	30戸
29	茶 志 内 7・8・9 区	鈴 木 雅 之	茶志内第3助け合いチーム	31戸
30	高 島 連 合 区	岩 口 一	高島ふれあいネットワーク	42戸
31	向ヶ丘 連 合 区	石 川 紀 子	向ヶ丘たすけあいチーム	40戸
計				1,659戸

先祖の御霊安らかに

郷土発展物故者慰霊祭



6月13日(水) 奈井江
神社の社務所内におい
て、郷土発展物故者慰
霊祭が開催されまし
た。

この慰霊祭は、戦没
者、町草分功労者、職業
従事中に殉職された

方々に対し行われるもので、当
日は遺族の方々や、町内各企
業、団体の代表者など多数の
方々が参列されました。

慰霊祭中、北町長が祭詞の
中で「幾多の労苦を重ね、今日
を築いていただいた感謝と、町
民参加によるみんなのでつくり
あげる協働のまちづくりの実
現に努める」と、哀悼の辞を捧
げながら奈井江町の発展を力
強く誓いました。



草刈り奉仕作業、忠魂碑清掃作業実施

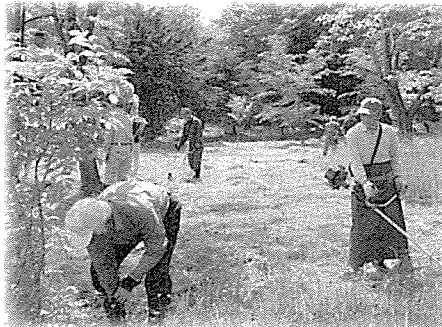
老人クラブ連合会、奈井江遺族親交会

郷土発展物故者慰霊祭を間近に控えた6月4日、町
老人クラブ連合会(会長田尻 弘氏)会員約50名によ
り奈井江神社の草刈り、樹木の剪定が実施されました。
当日は早朝より約1時間30分にわたり作業が行われ、

会員の皆さんは額に汗しな
がら慣れた手つきでみるみ
るきれいに草が刈られまし
た。

また10日には、遺族親交
会(会長小島昭則氏)の会員
5名により忠魂碑の清掃が
行われました。

毎年のご協力ありがとうございます。



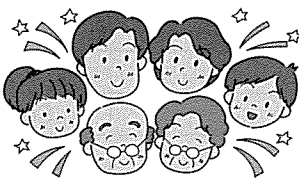
社協会費について

会員の皆さまに

感謝いたします。

町民の皆さまには、社会福祉協
議会に対しまして、ご協力とご支
援を頂き、役職員一同心より感謝
申し上げます。社会福祉協議会の
会費制度につきましては、連合区
長、区长、福祉推進委員を初めと
して、広く町民の皆様のご理解の
もと、温かく心の通いあう福祉の
町づくり推進のため平成元年度よ
り一世帯当たり500円の会費を
集めさせていただいております。

会費は、社協の自主財源として
皆さまの福祉ニーズに対し高齢化
少子化社会に向けての在宅給食
サービスや老人クラブ、身障福祉
協会・母子会・子供会などの福祉
団体の援助や各ボランティアの育
成、その他社協が
行なう各事業に
幅広く有効に活
用させて頂きま
すので、今後共社
協に対するご理
解、ご協力をお願
いいたします。



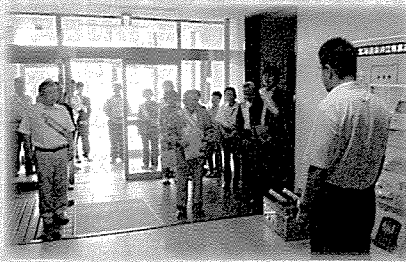
社会を明るくする 運動始まる

◆統一標語

「犯罪や非行を防止し、
立ち直りを支える地域のチカラ」

◆行動目標

「犯罪や非行のない安全・安心な
地域社会を築くための取組を進めよう」
「犯罪や非行をした人たちの
立ち直りを支えよう」



(学校訪問)



(街頭啓発)



(実行委員会)

今年も7月1日より1ヶ月間にわたり、「社会を明るくする運動」が展開されています。

この運動は毎年開催されるもので、罪を犯した人や非行に陥った青少年の更正に対する理解と、犯罪・非行の防止に努め、地域住民全員が協力しあって明るい社会を築くための運動です。

砂川警察署管内では、各構成市町において街頭啓発の予定と、奈井江町独自で学校訪問と車両パレードを予定しています。

昨今凶悪な犯罪が多発していますが、皆様のご協力をいただき、明るく住みよいまちづくりのためご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。



(子ども見守り街頭啓発)

日赤の社資にご協力を

日本赤十字社奈井江分区では、赤十字活動のため、皆様からの社資のご協力をお願いしています。

- ・平成30年度奈井江分区社資目標額 552,000円
- ・平成29年度奈井江分区社資実績額 719,150円



【社資って何?】

日本赤十字社では、皆様からご協力いただいている事業資金を社資といいます。

【何に使われるの?】

災害救護・国際人道支援・献血事業・看護師の育成・赤十字奉仕団活動・青少年赤十字活動・救急法講習会などの赤十字事業に使われます。



(日赤奉仕団 布切り奉仕作業)

【社資のお願い】

各地区の日赤協賛委員が社資のお願いに参りますので、今年も多数の町民の皆様にご理解とご協力をお願いします。

心配ごと相談所を開設しております。



普段の生活の中で、心配ごと、悩みごとなどありませんか？

社協では、皆さんの相談相手になるため、民生委員や中空知法律相談センター（滝川市）の弁護士による毎月相談、また、札幌弁護士会の弁護士による年2回（7月、11月）の心配ごと相談所を開設しています。困ったことがあったらお気軽にご利用ください。

相談員・相談日

【民生委員相談】

毎月第1水曜日の午前9時から正午まで

【弁護士相談】

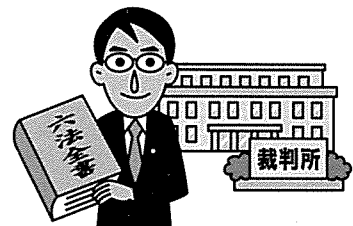
・中空知法律相談センター

毎月第3水曜日の午後1時30分から午後3時30分まで

・札幌弁護士会

第1回 7月24日(火)午後1時から3時30分まで

第2回 11月28日(水)午後1時から3時30分まで



弁護士

場 所 奈井江町文化ホール

※費用は無料です。また相談内容については秘密を厳守いたします。

心配ごと相談日カレンダー

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H31年1月	2月	3月
民生委員 午前9時～正午	4日 (終了)	1日	5日	3日	7日	5日	9日	6日	6日
中空知法律 相談センター 午後1時30分～3時30分	18日	15日	19日	17日	21日	19日	16日	20日	20日
札幌弁護士会 午後1時00分～3時30分	24日				28日				



こんにちは。
新人の
田村ひかるです。
これから精一杯
頑張ります。

太田浩二郎です。
一日も早く仕事の
戦力になれるよ
に頑張ります。



～活動の中から～



(本町地区のサロン活動に参加)

新採用職員紹介

4月1日付けで福祉活動専門員を2名採用しました。
地域福祉活動を通じ、皆様方に顔を覚えていただければ幸いです。
何卒よろしくお願いいたします。

心温まるご厚志に感謝申し上げます。

たくさんの方々より温かい善意が社協に寄せられました。
地域福祉増進のため有効に活用させていただきます。

平成29年12月21日より平成30年7月2日まで（敬称は略させていただきます。）

住 所	氏 名	金 額	内 容
本 町 5 区	奈井江の地酒を楽しむ会 代 表 杉 本 修	7,510	社会福祉事業へ
東 町 5 区	中 川 信 子	20,000	社会福祉事業へ
札 幌 市	鈴 木 繁 美	20,000	社会福祉事業へ
南 町 3 区	筧 下 節 子	30,000	1周忌の節目として（夫：筧下恒康氏死去）
本 町 9 区	泉 功	30,000	香典返し（弟：泉劭氏死去）
巖 島 1 区	村 田 優 子	30,000	香典返し（夫：村田孜氏死去）
本 町 7 区	深 田 全 男	200,000	香典返し（母：深田ノブ氏死去）
本 町 6 区	大 櫛 哲 行	30,000	香典返し（母：大櫛菊江氏死去）
茶 志 内 9 区	荒 木 毅	30,000	香典返し（父：荒木忠雄氏死去）
本 町 9 区	依 田 糸 子	100,000	香典返し（夫：依田明倫氏死去）
北 町 1 区	入 谷 和 男	50,000	香典返し（母：入谷きみ氏死去）
東 町 7 区	菊 地 敏 道	50,000	香典返し（妻の父：北次夫氏死去）
札 幌 市	河 元 佐知子	30,000	香典返し（父：高柳吉雄氏死去）
東 町 2 区	山 田 新 宜	30,000	香典返し（母：仁矢トシ氏死去）
本 町 7 区	高 見 美智子	30,000	香典返し（夫：高見衍氏死去）
南 町 5 区	木 村 直 明	30,000	香典返し（姉：鈴木真知子氏死去）
本 町 6 区	奥 山 真寿己	30,000	香典返し（夫：奥山博幸氏死去）
本 町 2 区	宮 原 政 子	100,000	香典返し（夫：宮原立彦氏死去）

『在宅老人給食サービス』を知っていますか？

奈井江町に居住する独居高齢者（65歳以上）や高齢者世帯の方が日常の生活に著しく困難きだしている場合、給食サービスを受けることができます。

毎週2回（火曜日・金曜日の昼食）

※12月31日～1月5日を除く

負担金 1食300円

【給食サービスの献立の一例】
ご飯、カレー、もやしの柚子和え、
ほうれん草のソテー、らっきょう、
フルーツ



赤十字安全法講習会の開催

日常生活の事故予防、手当ての基本、人工呼吸や心臓マッサージの方法、AEDを用いた除細動などの講習会を開催します。

日 時 平成30年9月28日（金）
14：00～

会 場 文化ホール交流談話室

定 員 30名程度

参加費 無料

申込先 社会福祉協議会

☎65-6066



「地域のつながり、支え合い」が大切です

生活支援体制整備事業から

平成29年度介護予防サポーター養成講座終了後も、介護予防サポーターを中心とした住民主体の活動につながるような取り組みを進めております。その中からいくつか紹介します。

介護予防サポーター交流会

交流会では、介護予防サポーター相互の交流や情報交換等を目的に、レクリエーションやワークショップ、学習会を中心に行われています。



【ふまネット運動】



【学習会、ワークショップ他】

サロン活動



(サロン運営委員)

『ラジオ体操の会』(本町地区)は、交流会において、サポーター同士のグループワークの中から出たアイデアがサロン活動につながった取り組みの1つです。4月24日からモデル事業として活動が始まりました。

活動内容は、運動を通じ介護予防を目的として、毎週火・土曜日の朝7時より役場前駐車場で15分程度ラジオ体操を実施。また5月、7月、9月と茶話会を企画し、参加者同士の交流を深めております。このサロンは、本町地区以外の方の参加も可能としているとのことですので、ぜひお気軽にお越しください。



【ラジオ体操】



【茶話会】 記憶力ゲーム(脳トレ)

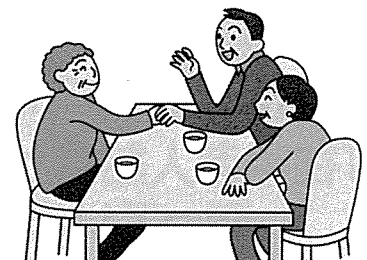


ゲーム大会

傾聴ボランティア事業をはじめます

傾聴(お話し相手)事業として、7月から傾聴ボランティア(愛称=『こ・こ・ろ』)活動をはじめます。

利用を希望される場合は、申し込みが必要となりますので、事務局(☎65-6066)までお問い合わせください。



利用要件等

・対象者

- ①65歳以上の
 - ・ひとり暮らし世帯
 - ・日中独居世帯
 - ・高齢者のみの世帯
- ②その他の世帯
 - ・障がいのある方など

・利用日程

午前10時から午後5時まで
(※毎週月曜日と年末年始はお休み。)

・利用時間

1日1回あたり1時間程度(※月2回まで)

・利用負担

1回200円

活動内容 ・お話し相手

※炊事、洗濯などの家事や身体介助、留守番、付き添いなどは行いません。